

技術名称(商品名)	(仮称)傾くと玉が転がる傾斜検知器 (実現場でのテスト中で発売開始前の製品です)
会社名	(株)サンワコン、福井大学、福井県、福井県建設技術公社
技術・システムイメージ (商品写真など)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="402 340 912 878"> <p style="text-align: center;">図 1</p> </div> <div data-bbox="938 340 1481 878"> <p style="text-align: center;">図 2</p> </div> </div>
技術の概要説明	<p>傾斜した面の上に玉を置くと玉が転がるのが原理です。図 1 に示すように、水平調整した面の上に玉(検知玉)を置き、その上に重り板を置きます。重り板の上にも玉(連絡玉)を置きます。傾くと検知玉が転がり、重り板が倒れます。重り板の上に乗っていた連絡玉が落ちて、塩ビパイプに誘導されます。連絡玉は塩ビパイプを転がり、道路近くに設置した警報表示器まで転がります(図 2)。連絡玉が到達すると赤旗が表示されます。道路パトロール者が赤旗の表示の有無を確認するだけで変位発生の有無を確認できます。</p> <p>本機器を水平に調整した状態から、検知玉が反応して玉が落ちるまでの傾斜変位量を加速度計を用いた傾斜計で確認しました。検知角度は 0.01° ~ 0.04°、平均 0.03° です。</p>
技術の特徴(PR する点)	<ul style="list-style-type: none"> ・電源(バッテリー)を必要としません。 ・仕組みが極めて単純で理解しやすいので、誰でも設置や維持管理が可能です。 ・他の警報機能付きの機器と比較して格段にコストが安いです。 ・一つの警報器で複数の検知器本体に対応できますので、設置位置を迷う場合には複数設置して点検精度高めることができます。
用途	<ul style="list-style-type: none"> ・斜面災害全般(大規模岩盤崩落、落石の予兆、構造物の傾斜変位など) ・道路パトロール(路上からの点検)の強化する目的で開発中ですが、施工中の安全管理など他の用途にも利用可能です。
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・導入コスト：価格は未定 ・ランニングコスト：特に必要なし
担当窓口連絡先	<p>株式会社サンワコン 開発部 南、岡島 電話：0776-32-6165 E-Mail tamakoro@sanwacon.co.jp</p>
その他	<p>(株)サンワコンのホームページ http://www.sanwacon.co.jp で随時情報提供いたします。</p>

